

JAPAN Railway & Transport REVIEW

第五号（1995年7月）

論説

苦難の時期を生きる鉄道貨物

特集 鉄道貨物の挑戦

競争的環境下における鉄道貨物輸送の変遷

岡田 清 成城大学経済学部教授

日本経済の成長の中で鉄道貨物が歩んできた道を検証しつつ、激しい競争にさらされる鉄道貨物輸送の将来を展望する。

フレイト21 — JR貨物中長期計画について

梶田 卓洲 JR貨物常務取締役

依然展望の開けない経済環境の中で厳しい経営状況が続いている日本貨物鉄道株式会社の、中長期計画である「フレイト21」計画作成にいたる背景とJR貨物が目指そうとしている方向について報告する。

オランダ・ドイツ間の新貨物鉄道について

Arnoud J. de Zoete 交通コンサルタント・元オランダ王国運輸省複合輸送部長

オランダ政府が建設をすすめているロッテルダムと北ドイツの工業地帯をつなぐ新貨物鉄道 (The Betuwe Railfreight Line) について、建設にいたる背景と、鉄道貨物輸送の今後果たすべき役割を道路輸送と比較しながら論じる。

大交通網計画

Peter Merz スイス連邦鉄道、アルプス横断・レール200プロジェクト広報部長

欧州内南北輸送の要路であるスイスは、鉄道と道路の利点を併せた輸送を行っている。現在計画がすすめられているアルプス横断線（アルプス横断線）を中心にスイス鉄道輸送と欧州鉄道輸送網の将来について展望する。

より低価格・高品質なサービスを提供するアメリカ鉄道

Edwin L. Harper アメリカ鉄道協会会長

鉄道貨物輸送がアメリカにおいて、その地位を確立した要因と共に、技術面・サービス面で発展を続ける現在の姿と、今後期待される役割について論じる。

参考資料

- ・主要国輸送機関別輸送量の推移
- ・貨物主要物資別輸送量の推移（日本）
- ・貨物の輸送機関別輸送量（日本）

もう一つの視角から

「列車で？」

スティーブ・エマー 亜細亜大学カナダ人留学生

東日本鉄道文化財団の国際交流事業「第2回留学生の日本発見」に参加した著者が東北をはじめ列車で旅した。東京の満員電車が嫌いな彼が感じた列車の旅の印象。

ピープル

スーパー鉄道マン世界に行く

東日本旅客鉄道の社員であると同時に、「難民を助ける会」の会員としてルワンダの井戸掘り隊の隊長をつとめる等NGO活動に人生を捧げる小松博史氏の多忙な半生。

シリーズ日本鉄道史 第五回 軽便鉄道政策と国有鉄道による地方的な鉄道の建設

青木 栄一 東京学芸大学教授

1900年以降1930年代までの軽便鉄道政策の展開、改正鉄道敷設法の意義、支線用鉄道車両の発達を概説するとともに、その当時鉄道サービスの改革に新しい風を吹き込んだ木下淑夫を紹介する。

トピックス

1995年1月から4月まで
JR七社決算概要
JR東日本新幹線新型車両の紹介
阪神大震災の被害と復旧工事

写真特集

JR貨物の列車とターミナル